

児島商工会議所
伴走型小規模事業者支援推進事業
外部評価委員会の実施結果(議事録)について

日時 平成 29 年 6 月 7 日(水)
13:30~15:00
場所 倉敷市児島産業振興センター
2 階 第 1 会議室

13:30、定刻となり司会進行である事務局より、前回の事業評価委員会および平成 27 年度伴走型小規模事業者支援推進事業の報告ふまえて、平成 28 年度事業報告および平成 29 年度事業計画を議題とする本会議の開会挨拶とした。

開会挨拶早々、次第の議題 1 にあたる『平成 28 年度児島商工会議所経営発達支援事業並びに伴走型小規模事業者支援推進事業報告』について事務局各担当より説明がなされた。

まず、事務局より「セミナー関係」の報告を行った。“販売促進・販路開拓”をテーマに開催した各セミナー、全 3 回。各セミナーについては以下のとおり報告した。

- 「新商品開発・ヒット商品の創り方&売り込み方を学ぶ」セミナー
日時:平成 28 年 9 月 6 日(火) 14:00~16:00
場所:倉敷市児島産業振興センター 参加人数:19 名
講師:(株)ノウハウバンク代表取締役 三科公孝氏
- 「想いが伝わるチラシ作成講座」
日時:平成 28 年 10 月 7 日(金) 14:00~16:00
場所:倉敷市児島産業振興センター 参加人数:38 名(事務局 4 名含む)
講師:大谷更生総合研究所合同会社代表社員 大谷更生氏
- 「You Tube 動画活用で売上を劇的に伸ばす方法」セミナー
日時:平成 28 年 11 月 11 日(金) 14:00~16:00
場所:倉敷市児島産業振興センター 参加人数:17 名(事務局 4 名含む)
講師:(株)アームズ・エディション代表取締役 菅谷信一氏

※配布資料抜粋※

続いて、事務局より「専門家派遣」についての報告を行った。当会議所の会員事業所(創業予定者を含む)を派遣対象とし、実施機関としては、平成 28 年 6 月 7 日(水)~平成 29 年 2 月 10 日(金)まで行われ、派遣回数:78 回、派遣事業者数 30 社という結果に至る。

以下、派遣事業者の利用回数・相談内容等。

派遣事業者の利用回数

利用回数	事業者数
1 回	7 社
2 回	11 社
3 回	4 社
4 回	3 社
5 回	5 社

月別の利用数

月	利用回数
6 月	5 回
7 月	10 回
8 月	12 回
9 月	11 回
10 月	3 回
11 月	3 回
12 月	16 回
1 月	11 回
2 月	7 回

相談内容

相談内容	回数
販路開拓・販路拡大	34 回
販売促進	18 回
経営革新	8 回
雇用・労働	6 回
創業	3 回
IT 活用	2 回
海外展開	2 回
6 次産業化	2 回
新事業展開	1 回
新製品開発	1 回
業務拡大	1 回

※資料抜粋※

事務局より展示会等について説明および報告があった。

平成 28 年 7 月に「首都圏でジーンズ関連の展示会」と称し、事務局 4 名、外部有識者 1 名、児島産業振興センター2 階にて 10 月に開催する展示会出展者の審査会を行った。

平成 28 年 10 月 26 日(水)～30 日(日)5 日間、井原商工会議所との共同事業である「岡山デニムフェア」をとっとり・おかやま新橋館(東京)にて開催。参加企業は 6 社(うち児島の事業所は 3 社)、来場者 1,640 人。

事務局より 2 名展示会に同行し、来場者にジーンズに関するアンケート調査・ジーンズに関するニーズ調査を行い 217 件回収することができた。展示会の PR について、井原商工会議所と共同で作成したポスターの他に、岡山県が作成した実際のジーンズを使用したポスターでの PR も行われた。

展示会終了後、外部有識者 1 名を始め出展事業者 6 名と事務局 4 名また井原商工会議所より佐藤氏を迎えた計 11 名で出展者報告会を行った。今回の展示会の反省、次回に向けての計画等を事業者間で意見交換を行い、外部有識者より事前の顧客情報収集が必要との意見があり今後の課題となった。

その他、より質の高い経営指導を行う為の資料として、「第 13 次業種別審査事典 書籍版全 10 巻セット」を購入。経営指導員や専門家派遣事業にて当所が派遣した専門家も積極的に利用している旨の説明を行った。

事務局からの報告が終わり、平成 28 年度の伴走型支援推進事業の報告をふまえて、当評価委員よりより評価していただく流れとなった。

まず「とっとり・おかやま新橋館で行われた展示会について、出展事業者の手ごたえはどうであったか」という質問に対して、「同行した 5 日間のうち、3 日目が雨で来場者が少なかった。また今回展示会の会場であるとっとり・おかやま新橋館は 1 階が特産品を扱ったショップスペースにもかかわらず、2 階の展示会会場に多くの人が足を運び、各事業所の手ごたえも良好であったと聞いている」と事務局より返答があった。

次に、「各出展事業者は、展示会 5 日間の売上結果を振り返りどう感じたか」との質問があり、「もっと売上があったのではないかという思いであったが、今回の展示会は満足であった。」と事

事務局より返答があった。それに続き、展示会最終日の閉店時間が片付けの為短かったこと、天候により来場者の減少について今後の課題として挙げたとの報告があった。また、「展示会出展者の選抜はどのように行ったのか」との質問に対し、「当会議所、井原商工会議所それぞれ審査会を行い、申込のあった事業所を外部有識者と共に審査し選抜した」と返答した。

セミナーについて、「チラシ作成セミナーが好評であったようだが、参加者の評価はどうであったか」との質問に対し、「今回行ったセミナー中もっとも参加者が多いセミナーで、内容としてチラシの概念部分をメインとしたセミナーであったが、参加者の中にはデザイン的な面についても話を聞きたいとの声があった。その為、平成 29 年度ではチラシのデザイン的な部分をテーマにしたセミナーの開催を予定している。アンケート結果として、参加者の中で小売店が多く、女性の参加者も多くみられた」と返答があった。

また、施策利用取組状況について、経営革新を含む児島商工会議所から申請件数は 79 件であり、そのうち、持続化補助金 69 件(採択 30 件)、創業補助金 1 件(採択 1 件)、ものづくり補助金 5 件(採択 1 件)であった。本事業の専門家派遣制度を通じて、専門家のノウハウを学びつつ、経営指導員・補助員のスキルアップを図り、のちに経営指導員のみで対応できるよう目指す方針である旨を伝えた。

委員より、「相談内容に特化した専門家ではない場合、やはり児島商工会議所の指導員が実際に指導を行うことが本事業名にもある“伴走型”支援となるのではないか。一般的な経営相談なら指導員の方が良い指導をできるのではないか。」との意見が挙げられた。

平成 28 年度の報告を終え、議題 2 である『平成 29 年度児島商工会議所経営発達支援事業並びに伴走型小規模事業者支援推進事業計画』について事務局より以下の報告を行った。

今年の 3 月末日、平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業 事業計画書を提出。5 月末計画書の採択通知が届く。それに伴い、交付申請書を本事業事務局である、日本商工会議所へ提出したとの報告を行った。

また、本事業計画について、当会議所が掲げているテーマ、“伴走型経営支援”と“産業振興・まちづくり推進事業”の 2 本柱を主軸とし“児島地域まるごとブランド化”を目指す。

まず、“伴走型経営支援”の事業内容として、展示会の開催および展示会出店支援について説明。29 年度では、4 社支援予定。開催地は、東京で 3 回、横浜で 1 回行う予定。セミナー・講習会の開催について、販路拡大・販売促進をテーマに年間 3 回程度の開催を予定している。その他、専門家派遣制度の実施、毎月 1 回経営指導員・補助員による情報交換会、また事業評価委員会や中小企業振興委員会の委員会開催を予定している。

次に、“産業振興・まちづくり推進事業”について、安倍首相の施政方針演説で地方創生の成功例として挙げられた「空き店舗対策事業 児島ジーンズストリート構想」。年 2 回春・秋開催の、「せんいのまち児島フェスティバル・せんい児島瀬戸大橋まつり」でのせんい産業の PR。また、「産業観光の推進」の一環として、“こじまさんぽ”という観光サイトを開設し、倉敷市公式の Free Wi-Fi に繋げるとトップページに表示されるようになっており、児島の観光情報や企業情報がみられるようになっている。これらをテーマとし、本事業を進めていく予定である。

以上、29 年度事業計画の説明を述べ、14:49 事業評価委員会を閉会した。